

キ ジ バ ト

Streptopelia orientalis



分類	ハト目ハト科													
特徴	背中に赤褐色と黒のうろこ模様があり、首に青と白の小さなしま模様があるハト類。ユーラシア大陸東部の温帯から亜寒帯で繁殖し、日本でも全国各地で広く繁殖する。北海道のものは冬期、暖地に移動する。狩猟鳥。													
生活	低地から山地の明るい林に棲息し、集落付近や市街地にも多くの個体が棲息する。林床、草地、農耕地などの地上を歩きながら採餌し、主に草や木の実を食べる。畑にまかれたマメなどを食べ、被害が問題にされることもある。繁殖期にはつがいで生活し、翼を水平に保ち、尾も開いて滑空するディスプレイ飛翔をよく行う。													
声	もっともよく親しまれているハトで「デデッポーポー」の声を繰り返して鳴く。しかし、鳴き終わりは「デデッ、ポウ」となるのが普通である。繁殖期に限らず一年中この声が聞かれるが、特に繁殖期には「プー」というオナラのような声を出すことがある。													
見分け方	全体に茶色っぽいハト類で、背と雨覆いの羽は赤褐色または灰色の羽ね縁が目立ち、うろこ模様となる。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L) 33cm 翼開長(W) 55cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														